

市議会3月定例会
行政報告

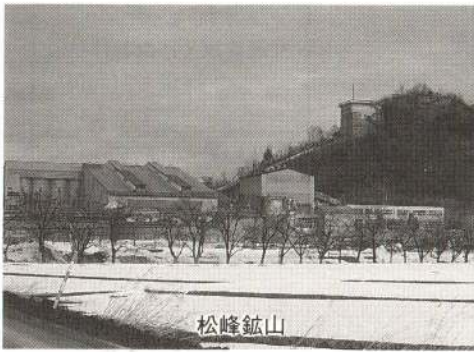
リサイクル事業へ45人の再雇用決定 鉱山退職者の再就職に努力

市議会三月定例会が招集された三月四日、小畑市長が行政報告をしました。その中から主なものの要旨をお伝えします。
なお、今定例会で審議された案件等については、四月一日号でお知らせします。

鉱山操業休止に関する

取り組み状況について

松峰、深沢鉱山の操業休止問題については、「大館市鉱山緊急対策協議会」を中心に、国、国会議員、同和鉱業(株)、花岡



松峰鉱山

一月二十四日、花岡鉱山労働組合が閉山受け入れを決定したことにより、再就職について労使の話し合いが進められ、二月十五日には、リサイクル事業へ四十五人の再雇用が決定し、翌十六日には百六十一人の再就職のあっせん先が提示されるなど労使間において積極的な取り組みが行われています。
市としても、大館周辺の企業七十八社に対し、鉱山退職者受け入れに関するアンケート調査を実施するなど、地元企業への再就職の促進に努めています。「労働省へ陳情していた「特定不況業種」の指定についても、今

月中旬には前向きな結論が出されるものと期待しています。

大館矢立ハイツの

管理運営について

鉱業(株)等へ陳情や要望を行うとともに、地元関連企業との懇談会や各種融資制度の説明会を開催してきました。

(財)秋田県勤労者福祉事業団が運営している大館矢立ハイツ

については、四年十一月に県から市へ管理運営委託の打診があり、市では、周辺整備を行いミニリゾート地として開発することにより、地域に密着した市民保養所的な施設としての運営が可能ではとの考えから、国や県に対して、温泉ボーリングや大幅な増改築工事の実施を前提として交渉を進めてきました。

六年一月、国、県が約十億円を予算措置し、国が増改築工事を、県が温泉ボーリングと外回りの整備を行うことになり、市の要望がほぼ満たされたため、教育産業常任委員会へ報告し、管理運営受託の了承を得ました。

市では、管理運営を行う公益法人を設立するとともに、事務



大館矢立ハイツ

引き継ぎ、施設の点検、職員の採用と教育、PRなどを行う予定です。また、矢立ハイツわきの沢地を埋め立て、「道の駅」の誘致に取り組みほか、「市民保養所峠の家」の整備や統廃合など周辺の整備についても検討を進め、健全な管理運営に努めていきます。

産業立地フォーラムの

開催について

去る二月十九日、大館市と大館市企業誘致促進協議会が主催

市長 リポート



No. 63

鉱山に光が！

リサイクル・メイン・パーク構想

リサイクル・メイン・パーク構想というのは、鉱山会社が持っている鉱山・製錬技術や鉱山跡地を、資源のリサイクル(産業廃棄物等からの有用資源の回収)に生かし、鉱山会社の環境産業への進出と、鉱山地域の活性化を図ろうとするものです。国の計画では、六年度に構想具体化のための調査を行い、七年度からモデル地域の整備に着手することになっています。

先月十九日、東京で開催された「大館市産業立地フォーラム」でも、大館出身の在京経済人の皆さんから、花岡鉱山を利用したリサイクル・メイン・パーク事業の実施に強い期待が寄せられました。

市では、この事業の地域指定に名乗りを上げており、鉱山地域の活性化のためにも、市民の皆さんのご理解とご協力を得て、国、県、市が一体となってこの事業の推進に努力していきたいと考えています。

小畑 元